

# 第7回青谷地域振興会議議事概要

日時：平成29年1月19日（木） 午後3時00分～5時20分

会場：青谷町総合支所 第2・3会議室

## 【出席委員】

高橋克己、鱸雅子、濱江康雄、奥谷吉男、鈴木光頼、瀧洋子、津本和美、北村佳子、松岡礼子、上田洋子

以上10名（敬称略）

## 【欠席委員】

長谷川和郎、長谷川英二

以上2名（敬称略）

## 【事務局】

山本支所長、武田副支所長兼地域振興課長（併教育委員会事務局青谷町分室長）、秋田市民福祉課長、山本産業建設課長、中島水道局青谷営業所長、長田地域振興課課長補佐

企画推進部地域振興局：竹氏次長兼地域振興課長、増田地域振興課課長補佐、福島協働推進課長、岡本協働推進課課長補佐、

総務部総務調整局：富山情報政策課長

総務部防災調整監：雁長危機管理課係長、山岡危機管理課主任

## 【日 程】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 題
  - 1) 地域内情報伝達設備の整備について
  - 2) 鳥取市ふれあい収集事業の総合支所管内での実施について
  - 3) 委員提案について
  - 4) その他
- 4 そ の 他
- 5 閉 会

## ◎議事概要◎

### 地域内情報伝達設備の整備について

【委員1】この会議での説明後はどのように考えているのか。

【事務局】助成の内容が固まれば、住民の皆さんへの説明、周知をさせていただきます。

【委員1】防災無線が昨年11月にデジタル化となり、情報が入りにくい、正午と5時のチャイムも家の中では聞きにくい、等の声がある。

【事務局】家の中では聞こえにくいとの件については、屋外中心のシステムであるとの説明をしています。

【委員1】今回の制度の説明だけでは判断しにくい。3つの設備のそれぞれのメリット・デメリット、負担、実施期間等を教えてほしい。

【事務局】3つの設備にメリット・デメリットですが、現在は担当レベルでの計画であり、予算要求しているところです。予算議決となれば運用開始に向けての説明を考えています。事業期間ですが、順次デジタル化を整備していくため、数年間を予定しています。

【委員1】今回の制度は、デジタル化となり地域情報が入らないという意見に対しての事業なのか。

【事務局】他の地域からも同様の要望があり、この度事業の内容がある程度決まったので説明させていただきました。

【委員2】高齢化となり、人の声が安心できると思う。制度が確定したら、どのように進めていくのか。大きな問題だと思っている。

【事務局】CATVを活用した音声告知端末の推進を考えています。青谷地域はCATV加入率が92.1%です。どのような単位（地域）での説明となるか決まっていますが、事業者の説明の機会を考えていただきたいと思います。

【委員3】デジタル化となり、一人暮らしの方への情報提供は難しいと思う。何がどう変わったのか、知らない住民は多いと思う。

【委員4】導入している国府地域はどのような状況なのか。

【事務局】CATVを使った、音声告知端末を導入しています。それぞれの家庭の端末で操作が可能です。取り組む組織については、自治会の集合体である協議会が組織され、運営しています。この協議会の事務局は、以前は支所が行っていましたが現在は民間となり、利用料の集金等をしてもらっています。住民の方に

も好評ですが、CATVへの加入が条件となります。

【事務局】放送卓からではなく、固定電話やスマホからでも放送することができます。誰でも放送出来るメリットもあります。エリアも限定できますし、リアルタイム放送、時間設定放送も可能です。また、3件までですが、録音機能もあります。

【委員5】新しいデジタル防災無線で、何か緊急事態が起こった時に聞こえるのだろうかという声が多い。最大音量でテスト放送をしてほしい。

【事務局】移行前の11月に7～8割の音量でテストをしています。また、今後は地域の防災訓練等でテスト放送することは可能です。

【事務局】2月21日の午前11時、Jアラートの訓練放送があります。最大音量で屋外スピーカから流れますので、確認していただければと思います。支所では各戸回覧文書で周知を図ります。

【委員2】この議題とは直接関係ないが、先日の中部地震で指定避難所である青谷小学校が壊れた。手当はどうか。

【事務局】壁が剥離し、その後も余震等で崩落の恐れがあるため、3週間程度使用中止としました。この体育館は耐震性がありますが、予想外のことでした。近くの青谷高等学校も指定避難所になっていますので、そこも考えていく必要があると思っています。

【委員2】避難時、高齢者等にとっては避難所までは遠い。各集落の集会所が最初の避難場所になる。集会所に対しての耐震対策はどうか。

【事務局】建築指導課が窓口となっている耐震診断（一部助成あり）を受けていただくことが可能です。対策が必要となれば、1千万円上限の公民館新築・改修の制度がありますので、活用をお願いしたいと思います。

【委員2】12月の鳥取市自治連地区会長会において、鳥取県中部地震の説明がなかった。説明するべきであった。

### 鳥取市ふれあい収集事業の総合支所管内での実施について

【事務局】高齢者の方や障がい者の方が、家庭ごみをごみステーションへ持ち出すことが困難な場合、鳥取市の委託業者が自宅前まで回収に行くサービスです。現在は旧市で実施しており、28軒の利用があります。

【委員1】申し込みがあっても断る場合があるのか。

【事務局】車が入らない等の場合は断る場合があります。

【委員1】ステーションまで遠い世帯であれば、設置場所を変更すること等も考えてほしい。

【委員2】玄関以外に出してもよいか。車が入る別の場所（近所の家等）に置くことは可能か。

【事務局】申し込みがあった時点で協議させていただきます。

### 委員提案について

【提案委員】現在、青谷地域には380haの田があり、200haが稲作、180haが米以外（耕作放棄地を含む）を作っている。農地維持・保全のため、まず日置谷地区で取り組み、今後は青谷地域全体に広がればよいと思っている。担い手が耕作しやすい環境づくりが必要である。

【事務局】広域化すれば、計画的に活用できる有利な制度です。受益者が少ないため実施が困難な農道補修等も取り組みやすくなると考えます。

【委員1】現在、河原集落では中山間直接支払制度を活用しているが、以前はこの多面的機能支払交付金制度を実施したが、高齢化等で引き継ぐ者がいない。この事業には取り組みにくい。

【提案委員】山根地区に基盤整備実施の話が持ち上がっている。耕作放棄地にならないような対策をとれば実施は可能である。また、以前ほど事務処理の手間は少なくなっている。

### その他報告

【事務局】ダイキンアレス青谷の増築について  
特になし

【事務局】中部地震に係る雑損控除等、税制説明会の実施について（1/20）  
特になし